

知識を相互に関連付けて問題を見い出して解決策を考える姿を目指すために、
個の問いの顕在化、切実な課題の設定を図る学習

日 時 令和3年11月11日(木) 5校時 実施
生 徒 旭川市立陵雲小学校6年2組 29名
指導者 森下 ほのか

- 1 単元名 目的や条件に応じて、計画的に話し合おう
「みんなで楽しく過ごすために」 (光村図書 6年)

2 単元について

(1) 教材観

本単元に関わる学習指導要領の目標および内容(抜粋)は、次のとおりである。

【学習指導要領】～第6学年(国語科)の目標と内容～

1 目 標

- (1) 日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。
- (2) 筋道を立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げることができるようにする。
- (3) 言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

2 内 容

【1知識及び技能】

(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項

○言葉の働き

ア 言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付くこと。

(2) 情報の扱い方に関する事項

○情報の整理

イ 情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと。

【2思考力、判断力、表現力等】

A話すこと・聞くこと

○話題の設定、情報の収集、内容の検討

ア 目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討すること。

○話し合いの進め方の検討、考えの形成、共有(話し合うこと)

オ 互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすること。

第6学年では、目的や条件に応じて計画的に話し合うことを学ぶ。そのために、進行計画を立てること、主張・理由・根拠を明確にして自分の考えをまとめておくこと、目的や条件に照らして話し合い、問題点を明らかにしながら協働的に解決策を創出するという手段を学習していく。本単元では、話し合いを繰り返し設定することで、自分の関わり方について振り返り、新たな課題を見つけ、それを乗り越えるために改めて話し合いを行うということで、自分の変容を感じさせたい。

第5学年まで、身近な話題で「考えを広げる話し合い」と「考えをまとめる話し合い」とを区別しながら合意形成を図っていく話し合いの学習を続けてきた。また、第6学年の前単元では、自分の考えを、質問を通して深めていくという方法についても学習している。本単元においては、6年間最後の話し合いの学習として、理由や根拠を明確にして、問題を解決するために試行錯誤しながら、新しいアイデアを生み出すような話し合いをさせたい。

(2) 児童観

自分の考えを述べる力については、得意とする児童と、苦手とする児童の個人差が大きい。苦手とする児童は、原稿やメモをあらかじめ綿密に作り、考える姿が多く見られる。

前単元の「聞いて、考えを深めよう」では、話し手が、目的や話題に沿って意見を述べ、その理由や事例として適切なものを挙げているかどうかを確認するため、積極的に質問したり、疑問に思ったことを伝えたりすることができていた。しかし、その内容は、話の方向性にそぐわない単発的な質問や、かえって話を混乱させるものも多かった。それは、目的に沿って話を深める力が十分でないということである。話し手の言葉を言い換えたり、目的や条件に沿った代替案を提案したりするなど、目的や話題に立ち返り考えることの重要性に気付かせる必要がある。

第4学年から本格的に学級会での話し合い活動を行ってきているため、話し合いには慣れている児童が多い。事前アンケートを行ったところ、話し合いが好きと答えた児童は、約70%であった。しかし、学級全体の話し合いでは、発言力のある児童に固定化してしまう傾向がある。そのため、児童間で気軽に指名し合うゲームや、自分たちで解決させる場面を他教科でも設定することで克服しようとしている。

(3) 指導観

本単元では、目的や条件に応じて計画的に話し合うことができるよう、学校生活を楽しくするための話題として、1年生との交流会や、中学校に進学した際に友人となる他校の6年生との交流を例にしている。児童がグループで試行錯誤しながら、身近で解決できるような話し合い活動を設定した。

今回の学習では、「目的や条件に応じて計画的に話し合うことができる」という指導事項が重点となる。目的や条件に応じるため、例えば、1年生が楽しめることだけでなく、安全であるか、ルールが簡単で分かりやすいかなど、自分とは違う立場を考慮するような話し合いの展開が求められる。そのために、単元の初めに何も学んでいない状態で話し合いを試行し、話し合いがまとまらない経験をする中で、計画的に話し合うことの必要感や重要性を感じさせたいと考えた。

さらに、自分の単元のゴールに向けた達成状況を把握し、建設的な振り返りを行っていくために、単元を見通した振り返りシートを活用し、以前の自分との変容を確かめられるような手立てを取っていく。

本時では、2回目のグループでの話し合いを基に、計画的に話し合うことのよさについて学級全体で吟味していく。1回目の話し合いからの成長を実感させることで、改めて話し合いの面白さについて考えさせたい。

(4) 学びの基盤

学びの基盤に関わり、本学級では以下の点を大切にしてきた。

- ① 「教室環境の整備」について
 - ・主体的に活動しようとする思いを認め、児童作成のポスター等を掲示してきた。
- ② 「学習規律の確立」について
 - ・聞き手によく伝わるように、「結論→理由」という話し方を指導してきた。
 - ・話し手への思いやりを大切にできるように、「体を向けて聞き、反応する」という聞き方を指導してきた。
- ③ 「支持的風土の醸成」について
 - ・個性を発揮するよう係活動を充実させ、互いのよさを認め合う経験を積んできた。
 - ・学級通信等を活用し、児童の頑張りや成長を発信してきた。

3 単元目標

- (1) 言葉には相手とのつながりをつくる働きがあることに気付くことができる。
(知識及び技能) (1)ア
- (2) 互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすることができる。
(思考力、判断力、表現力等) A(1)オ
- (3) 言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して思いや考えを伝え合おうとしている。
(学びに向かう力、人間性等)

4 単元で取り上げる言語活動

それぞれの立場から考えを伝えるなどして話し合う活動。

(関連：思考力、判断力、表現力等 A(1)オ)

5 評価規準

単元の評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
言葉には相手とのつながりをつくる働きがあることに気付いている。 (1)ア	「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしている。(A(1)オ)	粘り強く、伝え合う内容を検討し、学習の見通しをもって考えを伝えようとしている。

6 単元の指導計画と評価計画

(1) 単元の指導計画と評価計画における 18 次研究との関わり

研究内容 (3) 指導計画・評価計画

指導に生かす評価，記録に残す評価の位置付け

<指導計画>

本単元は、「みんなで楽しく過ごすために」とコラム教材「伝えにくいことを伝える」で構成されている。

単元構成については、グループによる話し合いを3回繰り返すことで、計画的に話し合うことよさや、学習を通じた自身の変容を児童が実感できるようにした。さらに、最高学年として1年生に喜んでもらう活動をしたり、中学校進学に向けて必要感をもったりできるような話題を設定することで、学びの実感をより確かなものとし、今後も粘り強く話し合っていこうとする前向きな態度を育めるようにした。また、コラム教材を1回目の話し合いの後に学習することで、2回目以降の話し合いに活用できるようにした。

時	指導計画	評価計画 (「記録に残す評価」の位置付け)			「主体的に学習に取り組む評価」 における工夫
		知	思	主	
1	議題1		↓	↓	モデルによる観点整理 指導事項、児童の実態を基にした 観点による個人目標の設定 【指導に生かす評価】
2	議題2	記録			
3	議題3		↓	↓	話し合いの実態を基にした、個人目標の見直し 【指導に生かす評価】
4					
5			記録	記録	繰り返しによる資質・能力の確実な定着を図り、評価の信頼性・妥当性を高める工夫 【記録に生かす評価】
6					

<評価計画>

「知識・技能」の評価については、2時間目にコラム教材「伝えにくいことを伝える」の学習におけるペア学習の様子や、様々な場合のよりよい伝え方を考える場面において記録に残す評価を行う。

「思考・判断・表現」の評価については、特に3時間目以降において、話し合いと交流に

よる振り返りを繰り返し行い、互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしている姿から見取り、3回目の話し合いにおいて記録に残す評価とする。

「主体的に学習に取り組む態度」の評価については、1時間目により話し合いの映像を見せ観点を整理する。その後すぐに1回目の話し合いを行い、個々の課題意識を高めた上で個人目標を設定させる。そして、振り返りシートを活用し、どんな力が身に付いたか、どのように取り組んだのか、さらによくできそうなところは何か等を記入させる。2回目の話し合いが終わった時点で個人目標を見直す場面を設定することで、学習の調整が図れるようにする。3回目の話し合いにおいて、粘り強く話し合いに取り組んでいたり、計画的な話し合いとなるよう試行錯誤して取り組んでいたりする姿を記録に残す評価とする。また、これまでの3回の話し合いを振り返らせ、個人目標を基にした成長を実感させ、振り返りシートに記述させることも、記録に残す評価として位置付ける。

(2) 単元の指導計画と評価計画

問題文 学習課題 まとめ ◎目標 **記録**記録に生かす評価

時	主な学習活動	評価方法及び指導上の留意点		
		知・技	思・判・表	主
1	<p>◎目的や条件に応じて話し合う活動について、学習課題を設定し、見通しをもつことができる。</p> <p style="text-align: right;">主体的な学び</p> <p>○これまで行ってきた話し合いを振り返る。 ○今後の活動や将来に、今回学習する話し合い活動がどのように生かされていくかを考える。 ○単元のゴールを設定する。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">目的や条件に応じて、計画的に話し合う力を身に付けよう。</p> <p>○よい話し合いの映像を見て、観点を整理する。 ★目的に沿って話している 具体的な意見を述べている 全員が参加している 質問をして考えを広げている 共通点や相違点を見付けまとめている</p> <p>○現時点での自分の実力を確かめるために、グループで話し合いを行う。 議題1「12月の朝学習の時間で、全校で何をするとよいかを決めよう！」 ○司会を決め、個人目標を立てる。 ○学習計画を立てる。 ○本時の学習を振り返る。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">これから話し合いに必要な力を身に付けて、将来に生きる話し合いのスキルを身に付けるぞ！</p>			<p>・観察 ・振り返りシート</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">指導の手立て</p> <p>単元のゴールに対して自己目標を設定させる。話し合いごとに振り返りを行わせ、学習の達成状況を確認させる。 ・自己調整の場を設け、自己の課題を修正させる。 (以下同様に指導する。)</p>

<p>2</p>	<p>◎話し合いに向けて、進行計画を立てたり、伝えにくいことをどのような伝え方をすれば相手に受け止めてもらえるかを考えたりすることができる。</p> <p>○課題を把握する。</p> <p>話し合いに向けて、進行計画を立てたり、適切な伝え方を学んだりしよう。</p> <p>○進行計画と役割を確認する。</p> <p>進行計画 ①一人ずつ意見を出し合う ②質問（考えを広げる話し合い） ③結論（考えをまとめる話し合い）等</p> <p>○「伝えにくいことを伝える」を読み、様々な場合のよりよい伝え方について考える。</p> <p>○どのような口調や表情が適切か、ペアでの実演を通して感じ方を体験する。</p> <p>○本時の学習を振り返る。</p> <p>今日学んだことを生かして、次の話し合いでも相手への伝え方を意識していきたいな！</p> <p>○1年生の担任からのビデオレターを見て、次時からの学習への意欲を高める。</p>	<p>記録</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・振り返りシート <p>指導の手立て</p> <p>伝えにくいことを伝えるときの口調や表情に着目させ、どのような伝え方が適切か、実演し、選択させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・振り返りシート <p>指導の手立て</p> <p>やりとりの目的を理解させ、どのように話したかにより、聞いたりするかとよいかを考へさせる。また、教科書の例を参考にしながらどのように表現するかを考えさせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・振り返りシート
<p>3 ・ 4 本 時</p>	<p>◎個人目標を解決するために、目的や条件に応じて計画的に話し合ったり、他グループの話し合いを見て振り返ったりすることができる。</p> <p>○学習計画を確認する。</p> <p>○課題を把握する。</p> <p>交流会を成功させるために、目的や条件に応じて計画的に話し合おう。</p> <p>○議題2を確認する。</p> <p>「1年生と楽しく遊んで仲良くなるために行う、交流会の遊びを決めよう！」</p> <p>○ビデオレターの内容を基に、交流会の条件を整理する。</p> <p>①1年生にも難しくない遊び ②危険のない遊び（怪我・コロナ） ③○月○日体育館（1／6スペース）○分間</p> <p>○各グループで進行計画を確認する。</p> <p>○自分の意見を、主張・理由・根拠を明確にしながらかえ、ノートに記入する。</p> <p>○前半グループ（3グループ）が話し合いを行う様子を、ペアのグループが見て評価する。</p> <p>○話し合いをペアのグループごとに振り返る。</p> <p>○成果や課題について振り返りシートに記入し、全体で交流する。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・ノート ・振り返りシート <p>指導の手立て</p> <p>自分の意見をもたせるために、これまで行ってきたお楽しみ会での遊びを振り返らせる。また、理由や根拠を書くために、必要に応じて友達にアドバイスを求める時間を設ける。</p> <p>（以下同様に指導する。）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・動画 ・振り返りシート

<p>○進行計画・役割・自分の意見を確認する。 ○後半グループ(3グループ)が話し合いを行う様子を、ペアのグループが見て評価する。 ○話し合いをペアのグループごとに振り返る。 ○「共通点でまとめる方法」の具体について全体で共有する。 ○成果や課題について振り返りシートに記入し、全体で交流する。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">計画的に話し合うことで、前より目的や条件に沿って話合えるようになったね！</p> <p>○前後半の話し合いから、次回の話し合いの個人目標を決め、見直しをもつ。</p>			
<p>5 6</p> <p>○個人目標を解決するために、目的や条件に応じて計画的に話し合ったり、他グループの話し合いを見て振り返ったりすることができる。</p> <p>○学習計画を確認する。 ○課題を把握する。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">末広北小の6年生と仲を深めるプロジェクトを決めるために、目的や条件に応じて計画的に話し合おう。</p> <p>○議題3を確認する。 「末広北小の6年生と仲を深めるためのプロジェクトを決めよう！」</p> <p>○プロジェクトの条件を確認する。 ①お互いを知ることができる ②直接会わずにできる ③準備が簡単である</p> <p>○各グループで進行計画を確認し、役割を決める。 ○自分の意見を、主張・理由・根拠を明確にしながらかえ、ノートに記入する。 ○前半グループ(3グループ)が話し合いを行う様子を、ペアのグループが見て評価する。 ○話し合いをペアのグループごとに振り返る。 ○成果や課題について振り返りシートに記入し、全体で交流する。</p> <p>○進行計画・役割・自分の意見を確認する。 ○後半グループ(3グループ)が話し合いを行う様子を、ペアのグループが見て評価する。 ○話し合いをペアのグループごとに振り返る。 ○成果や課題について振り返りシートに記入し、全体で交流する。 ○これまでの学習について振り返り、交流する。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">今回学んだことを生かして、卒業式に向けた話し合いや中学校での話し合いに生かしたい！</p> <p style="text-align: right;">主体的な学び 対話的な学び</p>		<p>記録</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノート ・振り返りシート 	<p>記録</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動画 ・振り返りシート

7 本時の学習（6時間扱い 4／6）

(1) 目標

- 個人目標を解決するために、目的や条件に応じて計画的に話し合ったり、他グループの話し合いを見て振り返ったりすることができる。

(思考力、判断力、表現力等)

- 伝え合う内容を検討したり、思いや考えを伝えようとしたりして、話し合いに取り組もうとしている。

(学びに向かう力、人間性等)

(2) 本時における 18 次研究との関わり

研究内容（4）観点ごとの総括

個人目標を解決するために、目的や条件に応じて計画的に話し合うことができるようにするための見取り方とその判断

本時は、議題2について2時間扱いで話し合う後半の時間である。話し合いや振り返りシートへの記述を通して、「思考・判断・表現」と「主体的に学習に取り組む態度」を一体的に見取る。話し合いを行う前に個人で話したい内容について考えさせる。その後、グループにて実際に話し合いをさせる。その様子を見取り、指導していく。その際、努力を要する児童を把握する。グループでの話し合いが一通り終了したら、「個人目標について何ができて、何がうまくいかなかったのか」を振り返らせ、各自の課題を確認させ、必要に応じて修正させる。お互いに話し合いを見合う際に児童同士がアドバイスをし合ったり、努力を要する児童へは個人指導を行ったりすることで自らの話し合いへの取り組み方について振り返らせる。

また、終末において本時の振り返りを行い、「振り返りシート」に何ができるようになったのか、どんな工夫をしたのか、単元の目標や個人目標の達成状況などを記入させ、3回目の話し合いへの意欲を高める。

《努力を要する状況になりそうな児童への支援》

〈進行計画に沿った話し合い〉

【支援1】

- 教科書「言葉の宝箱」やノートを振り返らせたり、机間指導でアドバイスをしたりする。（言語面での支援）
- 目的をしっかりと理解させたり、振り返りの時間を設け次時に向けて修正させたりすることで自ら考えさせる。（内容面での支援）

〈振り返り〉

【支援2】

- 児童は自分の課題を解決するために、友達や教師からアドバイスをもらう。（言語面と内容面での支援）
- 「共通点でまとめる」具体的な方法について考えさせる。（内容面での支援）

(3) 展開

1 単位時間の問題文

1 単位時間の学習課題

まとめ

白抜き 研究との関わり

教師の活動	児童の思考と手立て
<p>1 これまでの学習を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パワーポイントでこれまでの学習を確認する。 ・前時に行った前半グループの話合いを受けて、本時では後半グループが話し合いを行うことを伝える。 	<p>「計画的に話すことの大切さを学んだよ。」 「いよいよ話し合い、楽しみだなあ。」</p>
<p>交流会を成功させるために、目的や条件に応じて計画的に話し合おう。</p>	
<p>2 本時の課題を設定する。</p> <p>3 グループごとに進行計画に沿って話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流会の目的・条件・進行計画・役割・自分の意見を確認する。 ・ホワイトボードを活用する。 <ul style="list-style-type: none"> ①話し合いの進行に合わせて進行計画を貼っていき、その様子を動画に残す。 ②それぞれから出た意見を貼り、円滑に話し合いが進むよう活用する。 	<p>「個人目標を達成できるような話し合いにしたいな。」 「前回の話し合いよりもよい話し合いができそうだ！」</p> <p>「個人目標を意識しながら話し合おう！」</p> <p>★目的に沿って話している 具体的な意見を述べている 全員が参加している 質問をして考えを広げている 共通点や相違点を見付けまとめている</p> <p>●指導に生かす評価【思】【主】 全体を見ながら、1つのグループを中心に 見取る。その際、努力を要する児童を把握する。</p>
<p>【主体的に学習に取り組む態度の具体的な見取り方】</p> <p><何を> 全体の話合いにおいて、以下の3つの条件を満たして話し合おうしている。 ①【意見を述べる】ノートを基に、相手に自分の意見を伝えている。 ②【質問で話を深める】相手の話した内容について、適切に質問している。 ③【共通点を見付けまとめる】結論に向け、意見を整理しまとめている。</p> <p><どこで> 話し合い、振り返りシートに記入する場面</p> <p><何で> 話し合いの観察、振り返りシート</p> <p><手立て> ・言語面でのつまずきには、教科書「言葉の宝箱」やノートを振り返らせたり、机間指導でアドバイスをしたりする。 ・内容面でのつまずきには、目的をしっかりと理解させたり、振り返りの時間を設け次時に向けて修正させたりすることで自ら考えさせる。</p>	
<p>4 話し合いをペアのグループごとに振り返る。</p> <p>「1回目の話し合いと比べて、よくなった点は何ですか？」 「観点と照らし合わせて、さらによくできそうな点は何ですか？」</p>	<p>「前は時間以内に決まらなかったけど、結論までたどり着けたね。」 「目的に沿って話し合えたから、1年生が困らないようにルールを工夫することができたね！」</p>

5 「共通点でまとめる方法」の具体について全体で共有する。
 ・具体的な例を挙げ共通点でまとめる方法について考えさせる。

「共通点でまとめるやり方が分かった！」
 「次の話合いで使ってみよう！」

6 成果や課題について振り返りシートに記入し、全体で交流する。
 ・個人目標への評価とその理由を記入する。
 「この学習を通してどのような力が身に付きましたか？」
 「個人目標を達成するためにどのように取り組みましたか？」

●指導に生かす評価【思】【主】
 振り返りの記述を基に、児童の変容を見取る。

主体的に学習に取り組む態度

「具体的な意見を述べるために、遊びの内容だけでなく、細かいルールやグループ分けを工夫すべきという意見を積極的に出し、話合いを深めることができた。（粘り強さの例）」
 「今回、私は一人でしゃべりすぎてしまうことが多かったので、次回は、司会として話を振ったり、認め合う言葉掛けを意識したりすることでみんなが参加する話合いにしたい。（自己調整の例）」

7 前後半の話合いから、次回の話合いへの見通しをもつ。

計画的に話し合うことで、前より目的や条件に沿って話し合えるようになったね！

(4) 板書

計画的に話しあうことで◎
 次回は見直した個人目標でさらに成長！

条件

- ① 一年生にも難しくない遊び
- ② 危険のない遊び（怪我・コロナ）
- ③ ○月○日 体育館 / 6スペース

○分間

議題

一年生と楽しく遊んで仲良くなるために行う、交流会の遊びを考えよう！

めあて

交流会を成功させるために、目的や条件に応じて計画的に話し合おう。

みんなで楽しく過ごすために